

厳しかった冬を越え、一日一日と日差しの暖かさを感じる季節となりました。

本日は、私達二三六名のためにこのような心温まる式を挙行してくださり、ありがとうございます。卒業生一同、心より感謝申し上げます。

長いようで短かった三年間。共に支え合った友人との思い出が、今鮮明に思い出されます。三年前の春。少し大きな制服の中に期待と不安を抱え、東中学校の門をくぐりました。

新しい友人との初めての行事となった自然体験学習。壁のぼりでは、身長の数倍の壁が立ちはだかり、足がすくみました。手を差し伸べてくれた友人の温かさや、協力し越えた壁から見た景色は美しく、今でも目に焼き付いています。最初は無理だと思ったことでも、友人と協力すれば超えられるのだと知り、これからの中学校生活に対する期待がふくらみました。

志を立てることで、大人に向かって一步踏み出すことができた立志式。友人の志に対する熱い思いと、期待に満ちた眼差しが強く印象に残っています。また、想像していなかった親からの心のこもった手紙に涙があふれ、自分が生まれてきた意味や、これからの未来について考えるよいきっかけになりました。

新型コロナウイルスの影響で、通常よりも遅れて始まった最高学年としての生活。自粛期間中、受験はどうすればいいのか、行事はできるのかと様々な不安が押し寄せてきました。なぜこんな思いをしなければならないのかというやり場のない怒りも感じました。

多くの行事が中止になったなか、生徒や先生方の熱い思いで実現することができた学級対抗全員リレー。みんなの思いによってクラスカラーのはちまきを着けられたことに強い喜びを感じました。短い時間で、できる限りの練習を重ね、一人一人がバトンをつなぐことで、クラス、そして学年の絆がより一層深まったことを実感しました。

初めての取り組みとなった全校企画二〇二〇では、学校全体が一丸となり、新型コロナウイルス収束の願いを込めて、一つの大きな作品を作り上げることができました。三年生で決めた鶴文字の一つである「すべてが私達の青春」には、どんな出来事もプラスに捉え、友人とともに成長していきたいという思いと、悩んだことや不安だった気持ちもすべて無駄にはならないという思いが込められています。「今できることを最大限に楽しもう。」と行動してきた私達だからこそ考えられた言葉だと感じました。

先輩から聞いて楽しみにしていた修学旅行。何度も話し合いを重ねました。参加したいという思いと、新型コロナウイルスに感染することへの恐怖で葛藤しました。どちらの思いも正しいからこそ、悩みました。友人の思いを互いに尊重し、迎えた修学旅行の日。会津・那須の文化と歴史に触れ、友人とともに学べたことはすべてかけがえのないよい思い出です。

部活動では、一つの目標に向けて全員で努力を重ねました。なぜ先輩のような音が出せないのかと悩む日もありました。時間を見つけては、何度も何度も同じ音を弾き続け、響きのある音が出せたときの喜びは、今でも忘れられません。思うような結果が得られないときもありましたが、結果以上に目標に向かって努力することが大切なのだと学びました。

一度きりの中学校生活。友人との何気ない会話で一緒に笑い合えたこと、毎日授業を受けられたこと。当たり前が当たり前ではないということを知り、普通の生活に感謝し、一日一日を大切に過ごすことができました。

いつも優しく見守ってくださった地域の皆様。マイチャレンジではお忙しい中、私達のために仕事の大変さや喜びなどを教えてください、ありがとうございました。また、毎朝の明るいあいさつは、私達の原動力になり、学校生活の支えとなりました。

一日一日をかけがえのないものにしてくださった先生方。例年とは異なる活動が多く、戸惑うこともありましたが、先生方の熱い思いがあったからこそ、乗り越えられたと思っています。どんなときも私達を気遣い、骨身を削る思いで行動してくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。友人関係や行事の進行で悩んだ際に、親身になって話を聞き、アドバイスを下さって、本当にありがとうございました。困っている人に手を差し伸べる優しさは先生方から学びました。

私達の成長を考え、支えてくれた家族。学習への疲れや、うまくいかなかった出来事から苛立ちをぶつけてしまったこともありましたが、どんな時でも優しく寄り添い、一番の味方でいてくれました。やる気が起きずに、手を抜こうとしたときは励まし、進路に迷ったときには一緒に悩み、いつでも力が発揮できるようにと体調にも気を配ってくれました。家族という存在があったからこそ、自分と向き合い考えることができました。溢れるほどの愛情を注いでくれたことで、今の私達がいます。ありがとう。

卒業する日を迎え、ずっと追いかけてきた先輩方の頼もしい背中が目に見えます。私達も少しは先輩方に近付くことができたでしょうか。在校生の皆さん。頼りない私達についてきてくれてありがとう。どれだけのことを伝えられたかわかりませんが、教えたことに熱心に取り組んでくれる姿がうれしかったです。私達自身もみなさんに関わることで、新しい価値観を得ることができました。皆さんがこれから経験するすべてのことは、自分自身を成長させてくれます。一つ一つの出来事に真剣に向き合うと共に、東中の伝統をしっかりと受け継いでいてください。私達は在校生のみなさんを心から応援しています。

三年間を共に過ごし、様々な思いを分かち合った卒業生の皆さん。どこを切り取っても笑い合い、支え合った友人との大切な思い出で溢れています。ときには、気持ちがすれ違い、対立した日もありました。その度、気持ちを伝え合い、互いの考えを理解することで絆を深めてきました。みなさんがいてくれたからこそ、毎日がより一層豊かなものになりました。これからは、一人一人歩いていく道が異なります。つまりくこともあるでしょう。ですが、困難もプラスに変えてきた私達は強いはずです。東中学校での経験を生かし、恐れず互いに挑戦していきましょう。

最後になりますが、心身共に大きく成長するきっかけを与えてくださった鹿沼市立東中学校の益々の発展を祈ると共に、私達と関わり、多くのことを教えてくださったすべての方々への感謝の気持ちを込めて、別れの言葉といたします。

令和三年三月十一日  
令和二年度卒業生代表  
鈴木 櫻